

第18回スポーツ・ボランティア・リレートーク レポート

2012年10月18日(木) 19時より21時

仙台市市民活動サポートセンター 第5研修室

参加者 10名

仙台・宮城のスポーツ ～ 仙台ベルフィーユのめざすもの

仙台ベルフィーユ 事務局 高橋 宗和 氏



【自己紹介】

こんばんは、私は仙台ベルフィーユの高橋ともうします。

最初に自己紹介ということで私はおととしまでは東北高校で22年間数学の教師をしていました。平成15年からは宮城県バレーボール協会の事務局長をしてきて、2年前に高校を退職し、昨年この2月に亡くなった米田監督がチームを立ち上げるという事でお手伝いしてきました。昨年8月に立ち上がったチームですが、おととしの12月まで四国の高松で活動しており特定の企業に依存しないクラブチームということでやっています。プレミアリーグなど企業に依存しているチームが多い中で、岡山シーガルズと、KUROBEアクアフェアリーズなども企業型ではないクラブチームです。チャレンジリーグは今年10チーム、プレミアリーグは8チームとなっていますが、仙台ベルフィーユの形は非常にめずらしいのです。

【チームの紹介】

監督は諸隈さんで、米田監督とかかわりの深い人であり、GMの米田隼人さんは米田監督の息子さん、他に選手が12名いて、中野さやかは仙台市出身でキャプテンとしてやっています。ちなみに彼女はトヨタ自動車に勤務していますし、雨堤みなみなど3名はゼビオに勤務しているなど全員が地元の会社に勤めています。

彼女たちは自分のくいぶちは自分たちでかせぎ、寮もないのでみんなでアパートをかりてくらしています。試合は年によって違いますが10月10日に開幕し3月17日まで戦い、上位2チームになると昇格をかけて入れ替え戦を戦うこととなります。このためシー

ズン中は各企業に協力してもらい1時くらいに仕事を終えて練習させてもらっています。基本はマイクロバスで移動ですが、九州だけはさすがに飛行機となる予定です。みなさんが今まで関わってきたスポーツチームとは運営規模が全く違うことがお分かりいただけると思いますが、こうした手法で運営できれば今後のバレー界に一石を投じることができるのではないかと頑張っているところです。昨年は高松から8月に移動してきて、9月に監督が倒れて結果成績は6勝16敗ということで全体では9位でした。今年は選手の意識も大きく変わり期待できると思っています。先日はゼビオアリーナでVリーグのNECと闘い特に2セットめは競い合うことができました。



【地域に根ざして】

私達のチームは本当に地域にねざした形でできればというのが願いですし、(それが成功することで)バレーボール界をかえるきっかけになればと思っています。運営の形として一番近いのはバスケットのbjリーグだと思います。現状はあまりにも親企業の景気に左右されるのが課題で、チャレンジリーグでは昨年だけで3チームが廃部となっているのです。バレーボールはプロ契約はあまりなくて、よく選手のセカンドキャリアということがいわれますが、私達のチームの選手は、もしバレーが続けられなくなっても現在の仕事を続けることができる、そんな契約になっています。現在、勤務先となっているスポンサーのほかに、ユニフォームを作ったりジャージを作ったり遠征にかかる費用をスポンサーにお願いしています。結果として地元の企業であったりさまざまな企業に協力していただいています。全体では年間3千万くらいあれば運営できると思うが、一社ではなく広く長く応援していただけるところを募集していますので、ぜひご紹介いただきたいと思います。もし金銭的に余裕が生まれればいろいろな形で選手に還元したいものです。

今年チーム運営のためのNPOが立ち上がり地域に根差した活動ということで、今後総合型のスポーツクラブをめざして昨日から富谷でスクールが始まりました。今年は4

月からシーズンオフになりましたが、月1回から4回はいろいろなイベントに参加してきましたし、各地でバレーボール教室を開催しています。また、被災地での活動も行っています。チーム全体ではバレーの普及を行っているところです。今後は12月にもクランディでスクール予定しています。そのほか、もちろんスポンサーイベントにも参加しています。さらに2013年4月からはジュニアチームを立ち上げていく予定ですが、何よりスタッフ数がたりないのが課題です。また、総合型はバレーボールだけではないので、おそらく富谷町と連携して対応していくこととなります。2013年4月にはクラブハウスもできより地域と密接に関係をもちながら活動することが可能となります。

実際の活動としては今後大切なことは現在はバレーボール協会が中心で大会を運営していますが、協会の方々もほぼボランティアでやっているのです、そこを体系化・システム化していければと思っています。ゲーム運営の際のボランティア活動の基本はバスケットの89ERSの活動とあまり変わらないとは思いますが、ぜひ、夢を実現するために御協力いただきたいと思います。尚、チームスタッフが足りないためボランティア関係は郷家さんという歯医者さんに担当していただく予定です。

文責 泉田 和雄